

大 津 北 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開 催 日 時		令和 7 年10月22日（水）午後 3 時30分～午後 5 時05分
開 催 場 所		高島市安曇川町、大津北警察署 3 階大会議室
出席者	委 員	石井委員（会長）、前川委員（副会長）、海老委員、土井委員、中谷委員
	警 察	安田署長、宮脇副署長、水野調査官（警務課長） 小西会計課長、鳥毛留置管理課長、野元生活安全課長 高峰地域課長、山本交通課長、篠崎警備課長
議 事 概 要		
<p>1 ラウンドアバウトの視察</p> <p>高島市安曇川町五番領において、ラウンドアバウト（環状交差点）を視察した。</p> <p>2 警察署協議会</p> <p>(1) 署長挨拶</p> <p>署長から、今年に入ってから管内の事件・事故の発生状況の説明がなされ、「秋の行楽シーズンに向け事件・事故の防止や大規模店舗の開店に伴う交通情勢の変化に署員一丸となって邁進していく。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>(2) 議事</p> <p>警察から、県下及び管内の交通事故の発生状況、管内の道路計画や大規模店舗の開発、ラウンドアバウトの定義、構造、利点等について説明がなされた。</p> <p>その際、委員から「交通事故は肌感として増えているのか。国道 1 6 1 号バイパスの 4 車線化後は大きな事故はないのか。」旨の質問があり、警察から「県内では死亡事故は増えているが、件数自体は例年並みとなっている。バイパスでの事故は散見されるが大きな事故は起こっていない。」旨の説明がなされた。</p> <p>また、ラウンドアバウトの設置について、委員から「ラウンドアバウトの設置は住民からの意見があってできるのか。」旨の質問があり、警察から「今は住民の認知度が低く警察から道路管理者に提案するのが大半である。」旨の説明がなされた。</p>		

委員から「ラウンドアバウトの認知度を上げるための活動はしていないのか。」旨の質問があり、警察から「道路設計等は道路管理者が行うものなので、警察での広報活動は行っていない。」旨の説明がなされた。

また、委員から「若者は YouTube やインスタグラムなどスマホにより情報収集しているので、周知の方法として SNS 等を利用してはどうか。」旨の意見がなされ、警察から「YouTube で一定の検索キーワードを入力すると警察の広告が出るようにしたことがある。検索は高齢者が多かったが一定の効果があつた。」旨の説明がなされた。

委員から「琵琶湖大橋交差点の脇に大型店舗が開店するが、交通が集中して事件・事故が増えそう。大津市自治連合会では防犯カメラの設置の補助金が出され、各自治連合会で予算を組んでいるので、警察から自治連合会に必要箇所に設置要望を出してはどうか。」旨の提言がなされた。

委員から「琵琶湖大橋周辺で新しい店舗が次々と開店するが、店舗出入り口で事件・事故が起きないか心配している。ガードマンを増やすなどの指導はしているのか。」旨の質問があり、警察から「店舗の出入りの方法やガードマンの配置について指導はするが、最終的には業者判断の要素が大きい。」旨の説明がなされた。

委員から「道路にある電光掲示板の内容を、注意を引けるように面白い内容に変えられないのか。また、昼休みの時間帯で取り締まりをしているのを見ないが、取り締まりの時間はどのようにして決めているのか。」旨の質問があり、警察から「電光掲示板の多くが道路管理者が管理しているものである。取締りについては、事故の分析を行い決めている。」旨の説明がなされた。

委員から「道路の白線が薄かったり、雑草が生い茂っている箇所を見るが、どこが管理しているのか。」旨の質問があり、警察から「警察が関係している線もあるが、主に白線や雑草は道路管理者が担当している。」旨の説明がなされた。

委員から「女性総理が誕生したが、大津北署には女性の幹部はいないのか。」旨の質問があり、警察から「女性警察官の採用人数も増え、女性の幹部も増えてきている。」旨の説明がなされた。

### 3 次回協議会の日程

次回協議会は、12 月の後半での実施を予定しており、後日改めて日程調整

することで委員の賛同を得た。

協議テーマについては、委員から要望が出ればそれをテーマとするが、要望が無ければ事務局に一任する。